

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・4月に入り、何十か月ぶりに販売量が前年水準を超えている。
		家電量販店（営業統括）	販売量の動き	・消費税の総額表示により、一時的に販売量が減少したが、客が価格設定や表示に適応するとともに、販売量も増加している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行の動きが、3か月前と比較して200%程度伸びている。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・予約が上限まで埋まることがある。
	やや良く なっている	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	お客様の様子	・4月は気温が非常に高く、春夏物の商品の動きが良い。特に、近隣寺院の植木や藤の花の満開で人出が増えたことから、売上が上昇している。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・4月は天候、気温にも恵まれ、主力の婦人、紳士の衣料品の売上が春物、夏物含めて活発化し、UVケア関連商材も活発に動いている。一方、食品や家庭用品は前年を下回っている。全体的にバーゲン是不振で、安くても不要なものは買わない傾向であるが、逆に正価でも価値の高い商品は売れている。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・気温、天候が安定し、婦人のジャケットや紳士のスーツ等の動きが活発化している。来客数も増加し、食品、食堂等の売上も良い。ただし、高額な絵画や宝飾品類はいまだに前年に達していない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・酒類販売の免許が下り、徐々に食品部門の売上が伸びている。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・客は買い回りをしており、売上そのものには結び付いていないが、2、3月に続き、来客数は若干増加している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・酒の販売が始まり、来客数が107%に増加しており、売上を押し上げている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・夏日が続き、これまではジュースを1本購入していた客が、プラスアルファの商品を購入するようになってきている。
		家電量販店（店長）	それ以外	・それぞれの分野ごとにヒット商品、注目商品が出てきている。生活家電では食器洗い乾燥機、AV機器ではデジタル家電関係といった注目商品に対する客の購買意欲が見え始めている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・4月の薄型テレビの販売台数が、ここ数か月の中で最も多くなっている。DVDレコーダーの売上も顕著に伸び、パソコン関係の商品についても、サブノートを中心に徐々に上向いている。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・来客数の増加に加え、客からの値引きの強要等が減少している。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	単価の動き	・天候の回復とともに来客数が増加しており、それに伴い販売量も伸びるとともに、付加価値商品の選択により、買上単価も上昇している。10万円以上の高額商品の動きが良い。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・サラリーマン層が飲みに来る機会が増加している。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客から、残業等が増加しているという話を聞く。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・個人消費が伸びている。昨年の結婚式の件数が、期末で40件上昇している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・SARS問題により海外からの宿泊客が激減した昨年に比べ、今年はかなり上向いている。バーラウンジの売上も、4月は昨今になく好調である。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外需要は、団体が少ないものの、個人旅行を中心に堅調である。国内需要は間際になっての申込みもあり、動きが出ている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・個人旅行の動きが良くなっている。単価の高い宿を選ぶ客も多く、旅行への関心は高まっている。		
タクシー運転手	お客様の様子	・タクシー料金の値下げにより、客に選ばれるようになっており、やや上向いている。		
通信会社（経営者）	販売量の動き	・多チャンネルケーブルとケーブルインターネットの両方を申し込む客が少しずつ増加している。		

	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・月次の契約獲得面では実績に結びつくまでには至っていないが、営業部員の日報等から顧客反応の変化や好感触等、改善の兆候がうかがえる。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・デジタル新サービスの予約が好調である。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が前年比で40%増加している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・来店サイクルが短くなってきている。
変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・客は必要なものしか購入せず、高価なものは購入しない。安い日用品を購入しに来るため、客単価が低下している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・4月1日より内税表示方式になり、値上げ感が販売に響いている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・見積依頼は増加しているが、設備投資等には結び付いていない。
	一般小売店〔CD〕（営業担当）	お客様の様子	・商品を購入するかどうかの客の判断基準が、より厳しくなっている。高額な商品の買い控え傾向も続いている。
	百貨店（総務担当）	単価の動き	・現在、一部改装中で来客数は減少しているものの、客単価は上昇している。
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・4月は、高級雑貨、家具寝装など高額品が好調であるが、婦人服、紳士服は依然として不振が続いており、消費の回復はまだら模様である。
	百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・開業30周年記念の打ち出しを行っており、記念品、限定品の動きは良いが、逆に通常商品の動きが悪い。全体的には、減少傾向に変化はない。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・4月からの税込みの価格表示対策として、98円、100円等、今までの見慣れた数字を税込み価格とした商品の動きは良いが、消費税分をそのまま上乗せ表示した商品の動きは鈍くなっている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は昨年を上回っているものの、主力の婦人服や婦人雑貨が低迷している。客の購買意欲は弱い。
	スーパー（店長）	単価の動き	・総額表示移行後、顧客がかなり価格を意識しており、客単価は移行前と比較して約100円ほど低下している。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・4月からの総額表示により、買上点数は減少し、客単価は低下しているが、来客数が増えているので、売上は前年並みに推移している。ただし、税金分を感じさせない価格設定により、利益は圧迫されている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客の消費が、生活上必要最低限の数量と、買い忘れを補うための購入に限定されている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・総額表示に伴う買い控えなどの影響は少ない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は多少増加しているが、客単価が低迷している。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・4月は天気に左右され、何を購入するか客が迷っている感じが感じられる。連休前の旅行需要も少なく、消費行動につながっていない。
	衣料品専門店（次長）	お客様の様子	・当店では、消費税分を実質値下げし、売価を据え置いているが、開始数日間は他社と比べた買い得感が出て、売上効果があったものの、10日ほどで元に戻っている。売価の表示をそのまま変更した他店では、値上げのイメージを持たれていると聞いている。
	家電量販店（営業部長）	販売量の動き	・3月に苦戦した薄型テレビやDVDに再び勢いが出るなど、4月は何とか持ち直しの傾向が出ているが、回復が本物が疑わしい。
	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車販売実績は、目標に対し93.1%の見込みとなっている。新車効果のある看板車種は相応の販売量を確保しているが、それ以外の車種の販売が減少している。
	住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数の動きはあるが、販売量が伴っていない。
	その他専門店〔燃料〕（売場主任）	お客様の様子	・元売の仕切値が再び上昇しているが、過当競争は相変わらず継続しており、市況がそれに追いつかない。販売店がいつまで耐えられるかが心配である。 ・倒産した客があり、掛け売りの客の入金状況に神経を使っている。

		一般レストラン (店長)	お客様の様子	・4月は、歓送迎会等で客は入っているが、価格を抑えたいという要望が多い。
		都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・4月は、一般法人からの問い合わせが多く、法人宴会が回復したかにみえるが、婚礼については競争相手の進出や披露宴の多様化で苦戦を強いられている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・4月前半は、入学式、歓迎会、花見などの行事があったため、忙しかったが、後半は連休を控え、消費者が無駄遣いをしない傾向がみられる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・木曜日から土曜日はある程度の利用客がいるが、月曜から水曜日と日曜日の動きが悪い。
		通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・この3か月間の契約件数は、ほぼ横ばいで推移している。
		ゴルフ練習場 (従業員)	来客数の動き	・この何か月か周囲の景気はいいが、まだ直接実感できるほどの影響はない。
		パチンコ店 (経営者)	来客数の動き	・来客数は、どの店舗も横ばいで推移している。
		その他レジャー施設 (経営企画担当)	それ以外	・大リーグの日本開幕シリーズなど特殊な要因を除けば、客の消費に対する姿勢は引き続き慎重である。
		設計事務所 (所長)	お客様の様子	・中小企業には、依然として変化はない。
		設計事務所 (所長)	販売量の動き	・計画物件が多少出てきて、上向いてきていると思っていたが、大半が計画倒れとなり、仕事量が減少している。
やや悪くなっている		百貨店 (広報担当)	お客様の様子	・景気回復が最後に表れると言われている紳士服売場の売上が底をみせてきた反面、百貨店の主要品目である婦人服が、気候の影響を大きく受けて売上を落としている。売場の売上は若干の前年割れで推移しているものの、レストラン街の売上が大きく落ち込んでいる。
		百貨店 (営業企画担当)	お客様の様子	・フロアのリニューアルを実施したが効果が長続きしない。客の買い回りも少なく、欲しい商品のみを購入し、帰ってしまう傾向が強い。
		スーパー (店長)	販売量の動き	・4月から総額表示が始まっているが、当社ではレジの設定がまだ外税方式で、税込み価格とレシートの表示が違うというクレームがあり、客に不信感を与えているようである。来客数は昨年より増加しているが、買上点数が伸び悩んでおり、売上は厳しい。
		家電量販店 (店員)	それ以外	・4月は総額表示が価格上昇のイメージを与えたためか、エアコン、冷蔵庫、パソコンなどの売行きが悪い。特に、エアコンは前年比80%と低迷している。
		高級レストラン (支配人)	単価の動き	・1月と比べ、単価が430円ほど低下している。
		旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・4月の団体旅行の受注率は前年比70%で、やや悪くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・深夜早朝割増し料金の引下げで、法人タクシーと個人タクシーの間でにらみ合いの様相となっており、顧客の争奪戦が展開されている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・1月と比べると、販売量はやや減少している。
悪くなっている		一般小売店 [家具] (経営者)	来客数の動き	・3、4月は家具業界にとって一番の需要時期に当たるが、4月に入り、来客数が極端に減少している。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊稼働率は前月、前年比ともに変わりないが、宿泊人数が昨年を12%下回っており、売上が減少している。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・建売分譲を行っているが、3か月前と比較し、売上が全く伸びない。契約件数も、3、4月とどん底である。価格を下けているため、客や販売業者が住宅を見に来ているが、購入には至らない。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今年1～4月までの4か月間の売上は過去最高水準に達している。東京の古いビルの改装や空調設備の更新が多く、それに伴う機器の納入が好調である。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・全国からの引き合いが活発になっており、受注成約率が上昇している。

	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・周辺の工具屋や油屋等の業者をみると、注文数は少ないものの、仕事は忙しく、表情も明るくなっている。	
	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・少しずつではあるが、大型物件や小口工事が発注され、利益幅も若干上向いている。	
	金融業（渉外担当）	取引先の様子	・リストラも一巡し、収益力が出来た中で、賃貸用不動産を購入しようとする企業が増加している。大企業のみならず、中小、零細企業にも同様の動きがみられる。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先の受注量が回復傾向にある。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	取引先の様子	・新年度に入り、システム更改を計画している企業が増え、提案の依頼が多くきている。	
変わらない	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・取引先から、春夏物の売上が良いと聞いている。	
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数、売上ともに前年同月の水準を達成できている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量に変化がない。	
	その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・この業界では景気が上向くまでには至っていない。ニーズにあった特殊な商品開発が必要とされている。	
	建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・見積案件は一時期より増加しているが、契約に結びつくものは少ない状況が続いている。	
	不動産業（従業員）	取引先の様子	・現在の業態では黒字に転換できず、業態の変更を行う取引先が多い。	
	不動産業（総務担当）	取引先の様子	・ビジネス地区のオフィスの空室率が改善している模様だが、当社にその実感はない。入居の引き合いもびたりと止まっている。テナント情報が全く入ってこない。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・顧客の様子をみると景気回復のムードはあるが、受注量等の数字には表れていない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格の低い商品は売れるようになっているが、高額は全然動かない。	
	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・学生の来客数が減少し、特にワンルームの需要が少なくなっている。	
悪くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月は販売量が極端に減少している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月の売上は1月比で74%と、予想より悪くなっている。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・得意先の今期の出荷予定数量は前年を大きく下回り、売上は非常に厳しい見込みである。構内の荷扱量も減少するので、荷扱作業員の削減を具体的に進めなければならないが、削減数も決まっているが、実施時期が不明のため、不安要素ばかりが先行している。	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・最近では企業からの求人が多く、供給が追いついていない。昨年度と大きく様子が変わり、2004年度は供給不足の状況である。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣の交代や、社員の退職に伴う派遣依頼のほか、増員のための求人や、新規求人が多少増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・企業の新卒採用復活の動きに伴い、内々定を得た学生も、更に上のランクをねらって就職活動を継続しており、活動が長期化している。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	採用者数の動き	・中途採用数が増加し、さらに専門学校、短大、4年生大学の採用数も増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業を除くすべての産業で、求人が増加傾向にある。特に、雇用吸収力の高い製造、サービス、卸、小売業の求人数は、堅調に推移している。 ・100名未満規模の中小企業による、パートタイマーを含む求人活動に、力強さが持続している。

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・4月の新規求職申込件数が、前年同月比で約7%減少している。新規求職申込者で離職者のうち、事業主都合離職者の占める割合は16年3月は26.9%で、15年12月の29.9%を3%下回っている。
	学校〔短期大学〕（総務担当）	求人数の動き	・短大卒業生の採用を中止している企業もあるが、昨年度に比べ、全体的に求人数は増加し、採用人数も増加している。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・この2、3か月、求人数の動きはほぼ横ばいで、増減はなく、安定した状況に入っている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は昨年同時期と比較し減少しているが、パートや契約社員など有期雇用者の契約終了による退職が目立つ。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・今年度の求人実数は、昨年度とほぼ変わらない数で推移している。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・募集規模が小さくなり、回数も減少している。以前であれば、一回の募集で集まらない場合には連続で広告を出していたが、最近は一回出して様子を見たり、余裕のある部署を稼働させるという動きになっている。
悪くなっている	-	-	-